

## 「更生保護女性の会」絵本の読み聞かせ（3月7日）

今回は年長さん、こども園での最後の読み聞かせとなりました。行儀よく座って絵本に視線を送るその姿は、絵本への関心はもちろん、成長

した年長さんらしさにも見えました。読み手の佐藤さんは「だれか読んでみる？」と誘って、一人の女の子が代表で読み手になりました。子どもが読み手になる体験は初めてだったことでしょう。新鮮な気持ちで最後まで読み聞かせを楽しんだ年長さんでした。



## 保護者会「奉仕作業」ありがとうございました

毎年この時期には保護者の皆さんに、私たちだけではできない環境整備に力を借していただいています。今回は、側溝のドブさらえとプール屋根のペンキ塗りを中心に作業していただくことができました。屋根付き屋外プールは、夏のプール遊びには欠かせない環境であり、誇れる施設の一つです。高い場所での不自由な体勢の中で作業であったにもかかわらず、側溝掃除を終えた方も加わって、保護者の皆さんの真心と一体感が伝わってくるような空気がありました。

この後の総会では、吉田会長の挨拶の中で「子どもの活動に参加することを通して、保護者同士も親交を深めることができました。」「会長と言う立場は、子どもの生き生きとした姿を間近で見ることが出来る役得もあった。」という言葉がありました。会長さんの挨拶の後には、皆さんの拍手の響きが温かく今の保護者会の一枚岩を象徴しているかのようでした。



本当は当日保護者の皆さんが群がるように集まって力を結集して作業していただいている写真を予定していましたが、私のミスでこの翌朝の写真となりました。

## 「楽しい！楽しい！」と言ってくれるのが一番

今年も年長さん13人は、椎茸の菌うち体験を、「山の駅ふくべ」の皆さんの準備とご指導を得て実施することができました。一人一人に一本ずつ作業ができるように準備してくださり、どの子も最初は見よう見まねから

始まって菌うちを重ねる度に手際よくなりました。おじさんたちからは「ほう、じょうずになったな。」「楽しいと言ってくれるのが一番うれしい。」などの声を聞くこともできました。私たちはすぐに生姜焼きの椎茸のかおりを想像しますが、椎茸を見ることができるのは、2年後になるそうです。

